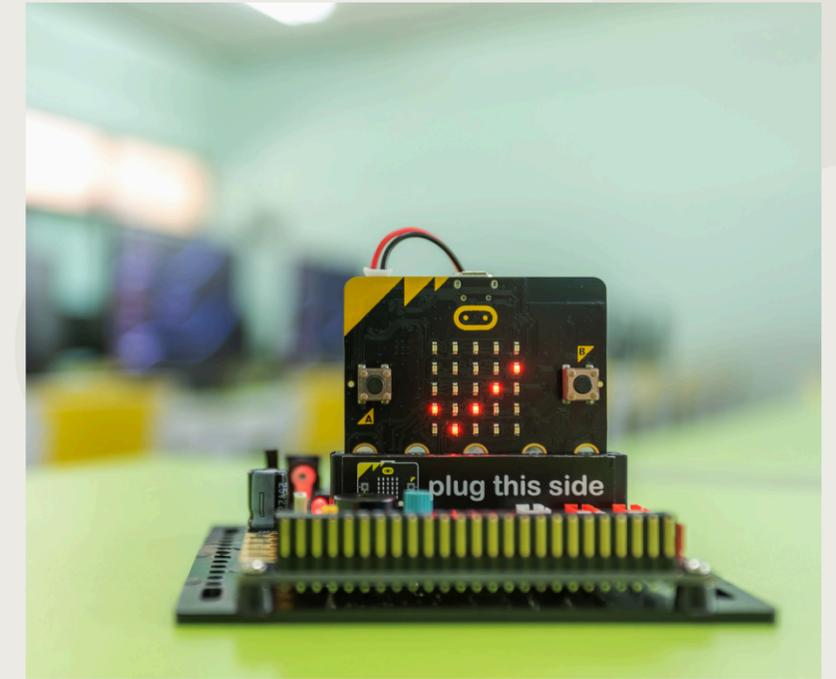


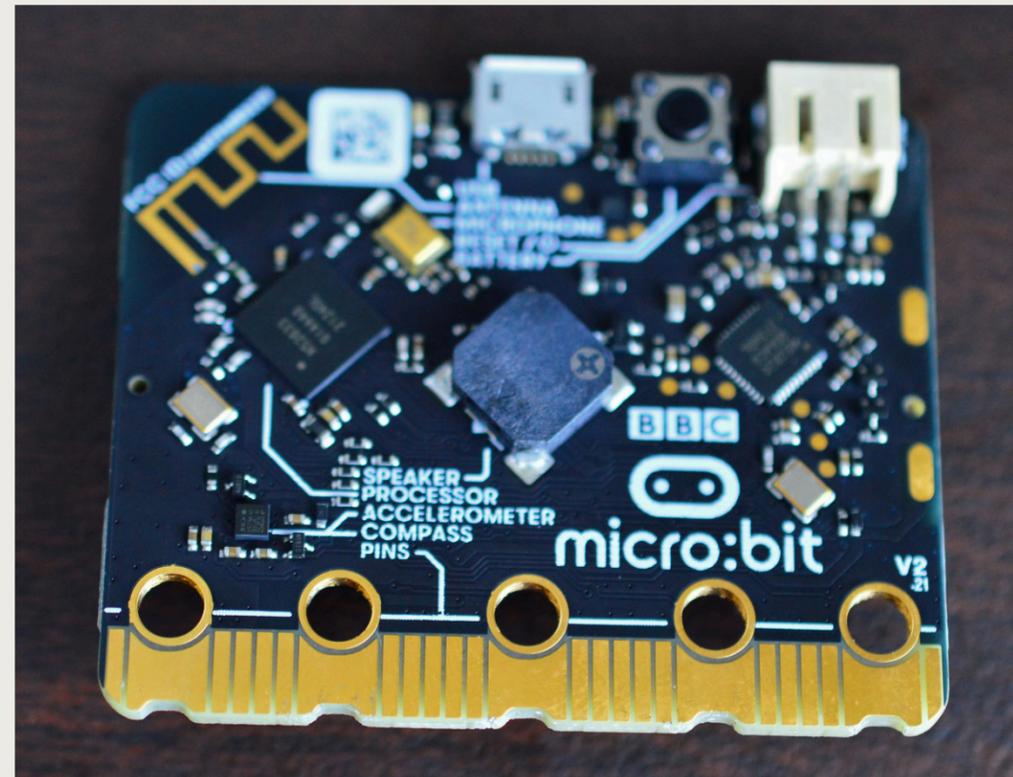
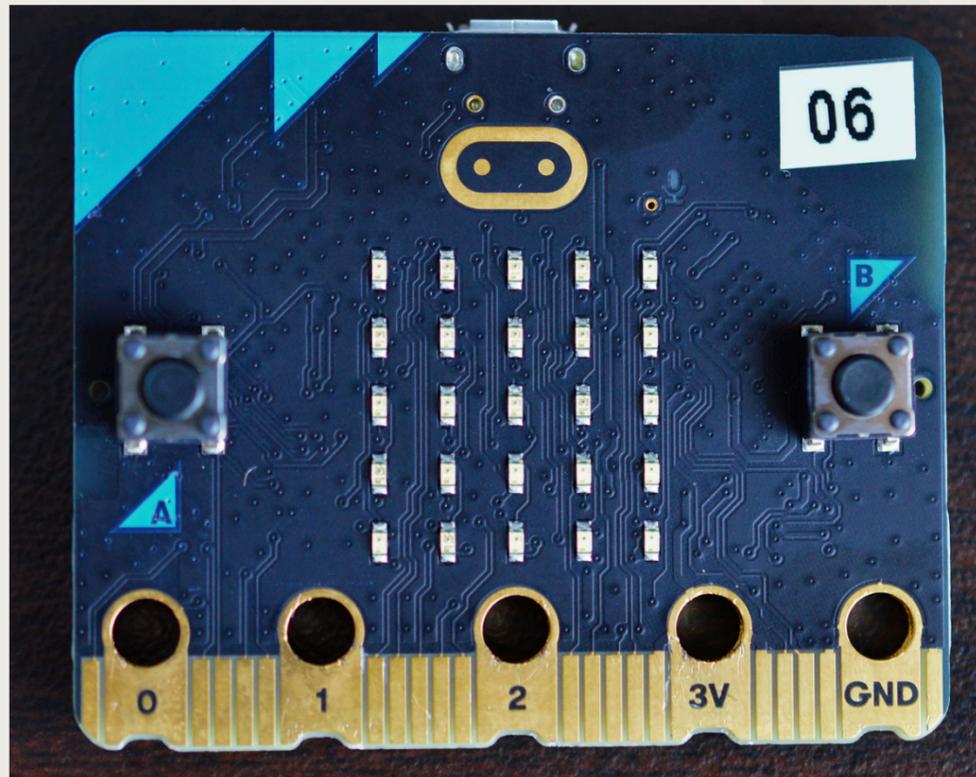
MICRO:BIT

小学生のためのマイクロビット



MICRO:BITとは?

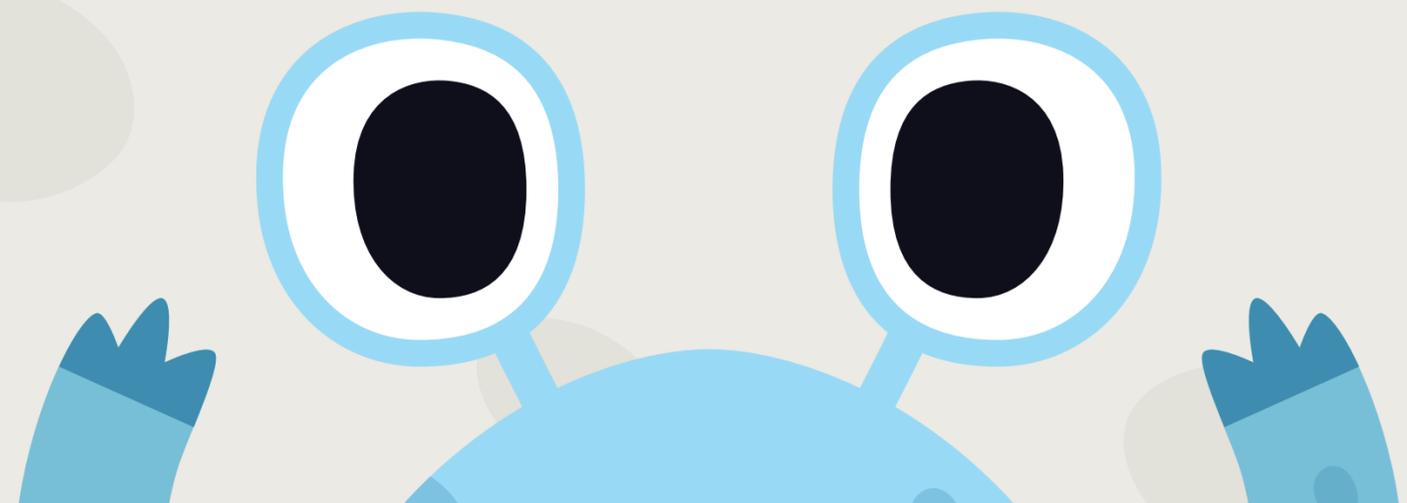
センサーがついた小型のコンピュータボード



特徴（とくちょう）

- 小さなサイズ: 手のひらに乗るくらい大きさ
- LEDライト: 25個の小さなLEDライト
- ボタン: 2つのボタン
- センサー: 明るさ、温度、方角を測るセンサー







何ができるの？

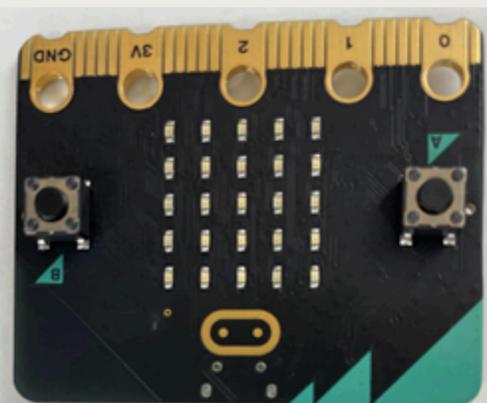
1. LEDを光らせる
2. 温度センサーを使って、周囲の温度を測定できる
3. タッチセンサーを使って、さわると光ったり音を鳴らせる
4. 地磁気センサーを使って、方角を表示するコンパスを作成できる
5. 加速度センサーを使って、歩数をカウントすることができる

使い方

1. USBケーブルを準備
2. マイクロビットとUSBケーブルを接続
3. ChromebookとUSBケーブルを接続

準備するもの

- ・ マイクロビット (一式)
- ・ タブレット



USBマーク
が上向き



MAKE CODEを起動

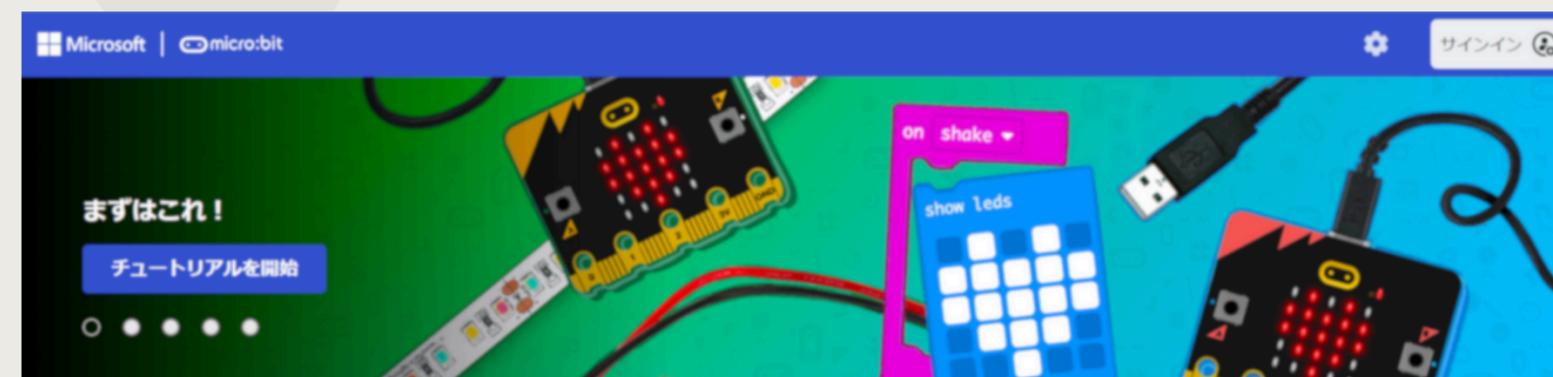
1. Make Code サイトを開く
2. 新しいプロジェクトを選ぶ



3. プロジェクトの名前を入力する



プログラムツールを
起動しよう



MAKE CODE

シミュレーション画面

※プログラミングしたものが、仮想で確認できます。

ダウンロードボタン

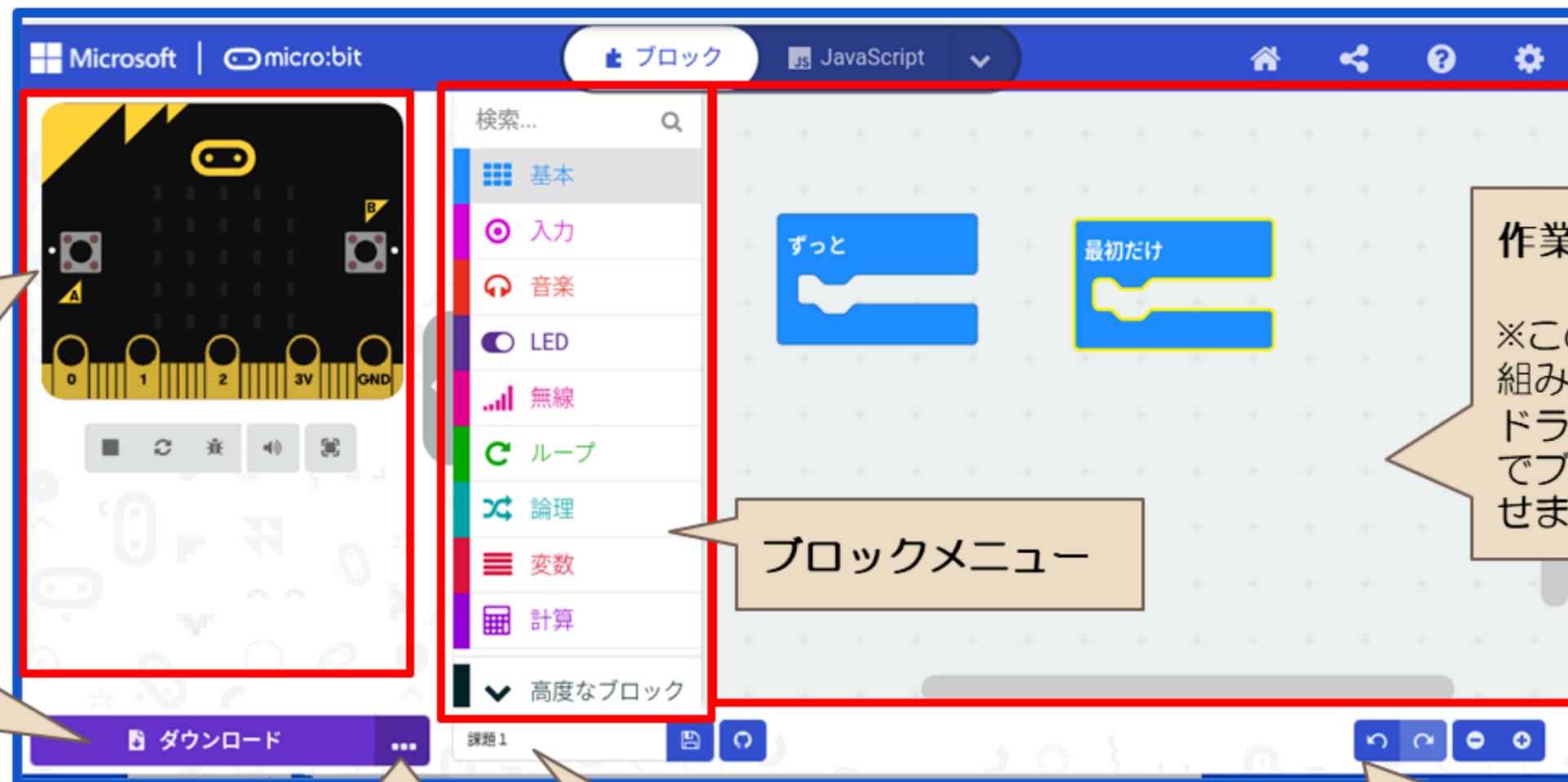
※MICROBITにプログラムを転送します。

三点リーダーボタン

※タブレットのペアリングに使用します

ファイル名

元にもどす/やりなおしボタン



作業領域

※この中でブロックを組み立てます。
ドラッグ&ドロップでブロックを引き出せます。

ブロックメニュー

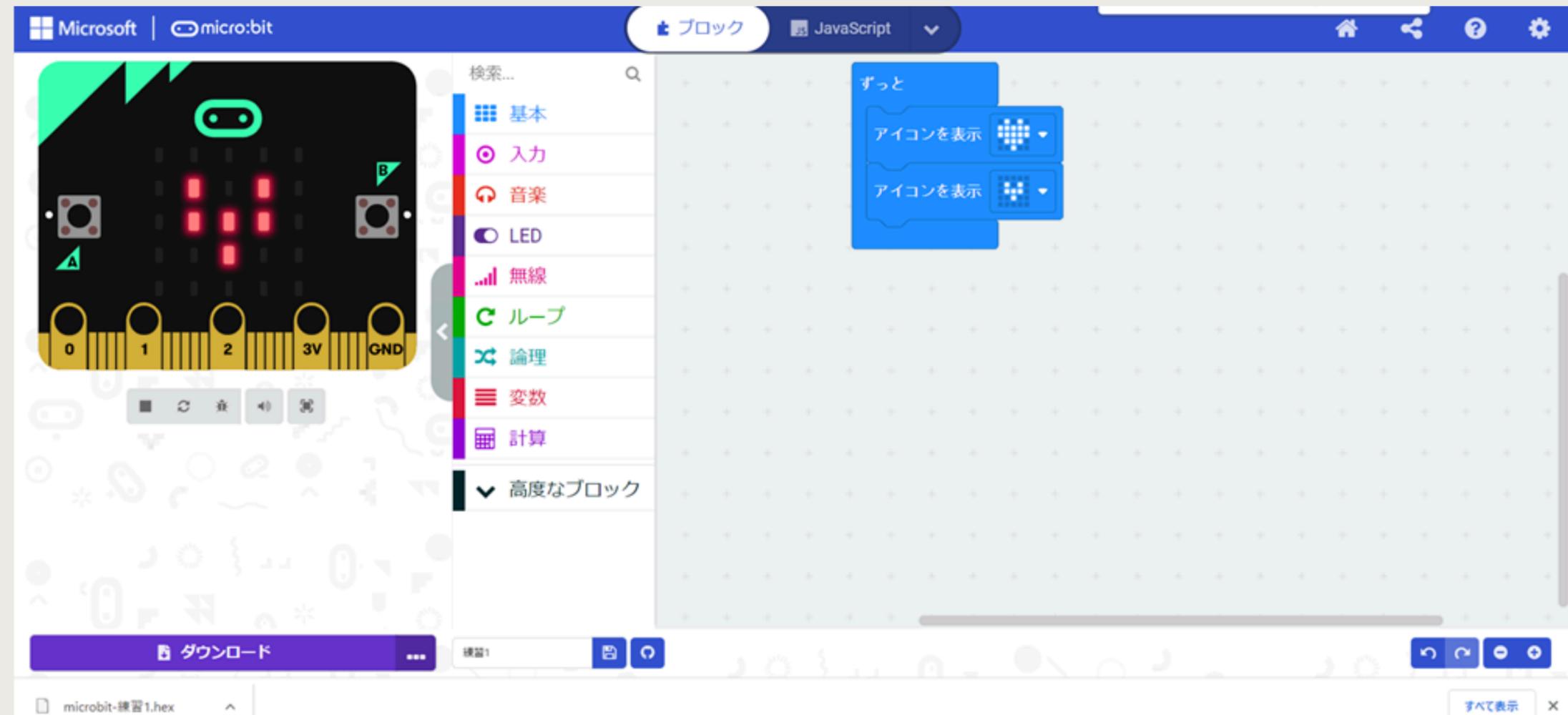
プログラミングしてみよう



★LEDディスプレイに大きなハートマークと小さなハートマークを交互にずっと表示するプログラミングを作成してみよう。

使用するブロック

- 「ずっと」
- 「アイコンを表示」

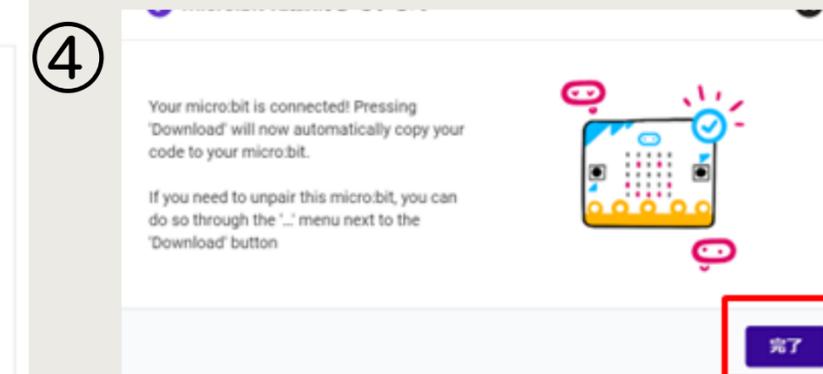
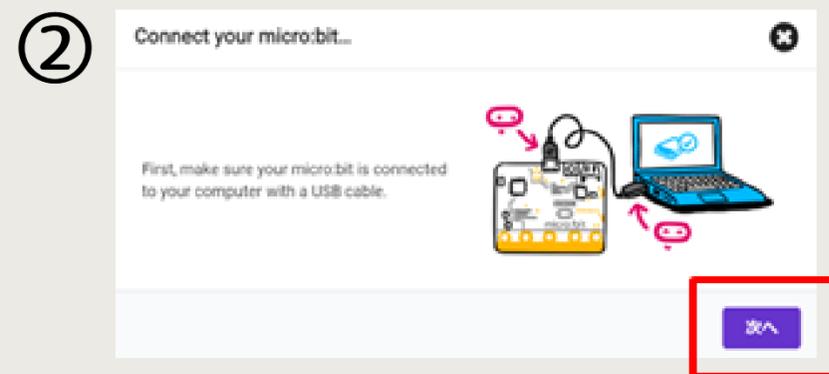
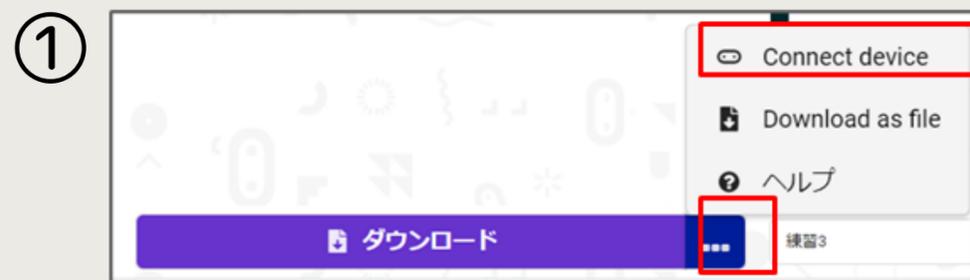


ペアリング作業をしてみよう



★microbitにタブレットで作ったプログラムを送れるようにしよう

- ①ダウンロードボタン横の3点リーダーボタンから connect device を選択
- ②接続の画面がでたら、次へボタン
- ③接続を要求している画面から、
“BBC microbit CMSIS-DAP” 選択し、接続ボタン
- ④「micro:bitに接続しています」の画面がでたら、完了ボタン



プログラムを転送しよう

①ダウンロードボタンを選択



②ダウンロードしてしていると出現し、下記の表示が一瞬出たら正常にダウンロードできています。



注意!

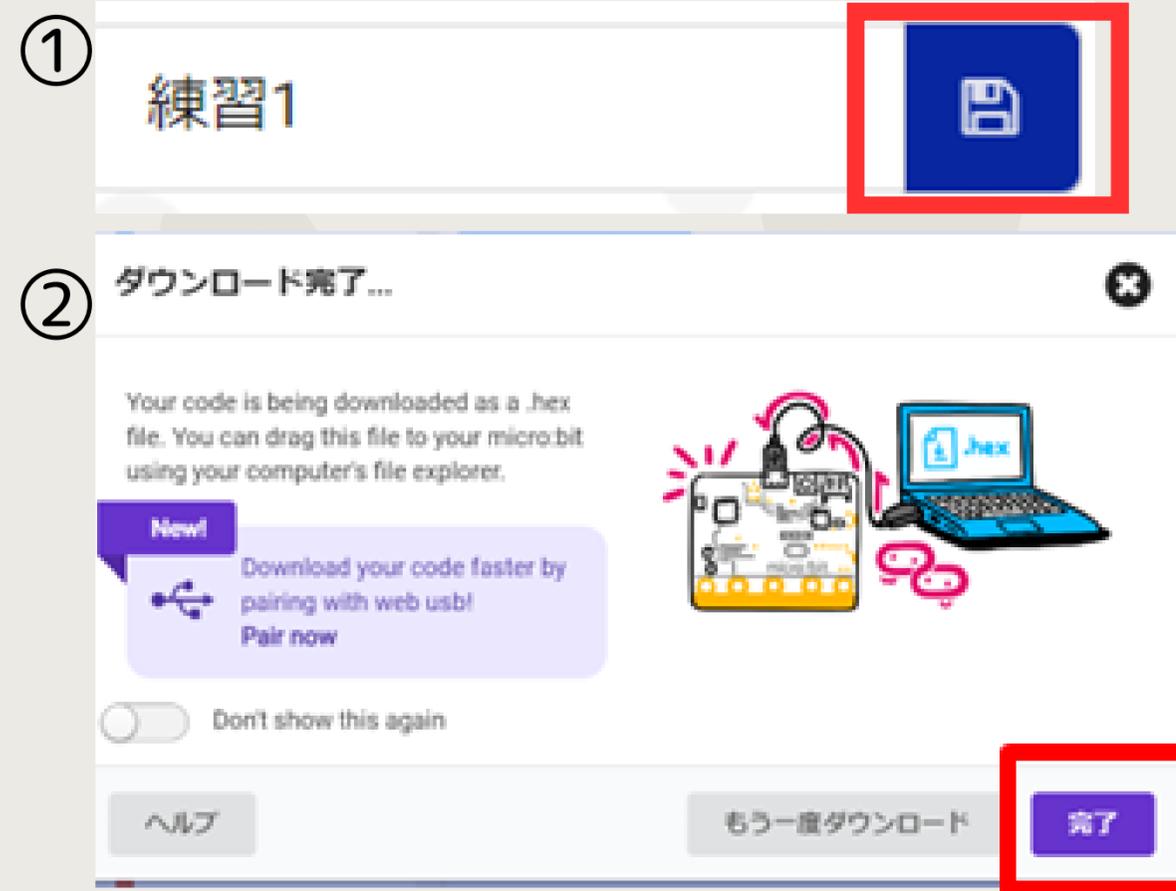
※USBを抜くときは、URL先頭の鍵マークを選択し、microbitの欄の×を選択してから、USBケーブルをぬきます。
(ペアリング解除)



作ったプログラミングを 保存する



- ① ファイル名を入力し、
フロッピーマークを選択
(プロジェクト名のままでよければそのままでも良い)
- ② ダウンロード完了の画面が出ますので、完了を選択
- ③ 「ダウンロードフォルダに保存されます」を追加





作ったプログラミングを 読み込むには?

- ① オープニング画面から
「読み込む」ボタンを選択
- ② 「ファイルを読み込む」を選択
- ③ 「ファイルを選択」から、
開きたいファイルを選択

①



②



③



色々なセンサーを使って
プログラミングを
してみよう！！

